

あいさつ運動の好事例

玉野市立荘内小学校

(児童数648名 教職員数54名)

みんなであいさつ！
～全校児童の取組～

アピールポイント

- 毎月第2週・3週に、「朝のあいさつ運動」を行っている。
- 順番を決めて、全校児童が取り組んでいる。
- 高学年と低学年の組み合わせで、「朝のあいさつ運動」を行い、交流活動も兼ねている。
- 学期始めには、荘内地区の民生委員・児童委員の方、30名も参加して下さる。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

- ・本校には600名を越す児童がいるため、同じ学年であれば、顔と名前がわかり、あいさつをかわすこともあるが、異学年になるとなかなかそれはできないのが今までの実態である。

■活動内容

- ・全26クラスの児童が、毎学期に1週間は、「朝のあいさつ運動」に参加できるように順番を決め、朝の15分間、校門や下駄箱前で取り組んでいる。

■取組の参加メンバー

- ・全校児童、教職員、民生委員・児童委員

■成果・効果

- ・「朝のあいさつ運動」の取組は4年目になるが、年々お互いに気持ちのよいあいさつが交わされるようになってきた。朝のあいさつが活発になったのは勿論のこと、来客者へのあいさつや地域の方へのあいさつも自然とできる児童が増えてきた。また、あいさつの仕方でも人から声をかけられてするのではなく、自分から進んで「おはようございます。」のあいさつの声が出る児童が増えてきたように思う。今後は、朝だけでなく、昼間や帰りのあいさつにも力を入れ、あいさつの輪を広げていきたい。